

記入例：離職等の方（現在のご自身の状況にあわせてご記入下さい。）

（改・参考様式9）

川口市長 あて

求職活動等状況報告書

この求職活動状況報告書は、毎月の収入が確定した日から1週間以内（提出期限）までに自立相談支援機関に提出してください。

提出書類は、この報告書とあわせて郵送等するか、自立相談支援機関に直接ご提出下さい。

【あなたの状況についてあてはまるものに✓を入れて下さい。（必須回答）】

離職・廃業

「離職・廃業」にチェックをしてください。

被雇用者（休業中・時短就業者・シフト勤務）

自営業者（休業中・時短営業中・営業不振等）

離職・廃業以外に✓の方は必須回答 → 現在の仕事を続けたい 転職する意思がある

【この1か月間にあなたが行った活動に✓を入れて下さい。（必須回答）】

（全員必須） 自立相談支援機関の相談支援員と就職に関する相談をした（●回）

●月●日（金）※ 郵送・メール・窓口・電話

※この報告書の提出以外で相談歴が無い場合は、この報告書の提出日と提出方法を回答して下さい。

①常用就職※を目的として、企業に応募した（パート・アルバイト等可）（●回）

※期限の定めのない、または6か月以上の雇用契約による就職

（提出書類）様式第1号 常用就職活動状況報告書

②ハローワークでの職業相談等を行った（●回）

（提出書類）様式第2号 職業相談確認票

③生計維持のため、パート・アルバイト・副業等を行った。

ひと月の収入※ 円

※収入基準額を超えても、常用就職でない場合は直ちに給付は中止されません。

④支援プランにより、就労準備や家計改善に関する支援を受けた

月 日（ ）

⑤その他活動方針に応じた求職活動 ※自立相談支援機関が決定したプランに沿った求職活動

（具体的な内容

）

その月に支援員とメール・窓口・電話で就職に関する相談をした場合は、相談日と相談方法を回答してください。相談をしていない場合は、この報告書の提出日と提出方法を回答して下さい。（※コロナ禍のため、当面の間、この報告書の提出で月1回の相談要件を満たすこととします。）

また、その月に週に1回以上の企業等への応募・面接をした回数と、ハローワークで職業相談をした回数を①～②の回答欄にご記入下さい。（別添「様式第1号 常用就職活動状況報告書」「様式第2号 職業相談確認票」の回答内容を参照した上でご記入下さい。）

③～⑤は該当者のみ、随時ご記入いただきますよう、お願い致します。

(別表)

受給月数	あなたの状態	必要とされる求職活動要件（前ページ①～⑤と対応）			
		自立相談支援機関との相談 (月1回以上)	①企業応募 (週1回以上)	②ハローワーク相談 (月2回以上)	③④⑤その 他の活動
1か月目 ～ 9か月目	離職・廃業	必須※	必須	必須	支援プラン に従う
10か月目 以降（再々 延長中）	休業等	必須※	任意	任意	必須
	全 員	必須	必須	必須	支援プラン に従う

※コロナ禍のため、当面の間、本様式の提出で月1回の相談要件を満たすこととする。

【生活の状態について（任意）】

住居確保給付金を申請した時点と比較して、その後変わった点についてお伺いします。
一番近い状況に✓を入れて下さい。（複数回答可。主なもの3つまで）

- 世帯収入が増えた 世帯収入が減った 失業（廃業）した 家族が失業（廃業）した 転職をしたい 電気・ガス・水道・携帯電話料金を滞納している 食べ物に困ることがある 子どもに必要なもの（学校で使う物や給食費等）を買えない （家族も含めて）入院加療が必要な病気にかかった お金を借りた／借りたお金を返せない 家賃の安い住宅に引越しをしたい 特に変わらない

【生活上のお困りごとについて（任意）】

現在、生活上において困っていること、不安なことがありましたら記入して下さい。記入内容について、相談員との面談等を希望される場合は下記に✓を入れて、自立相談支援機関にご提出下さい。こちらからご連絡いたします。

- 電話での相談を希望する 面談での相談を希望する

下記の項目を記入の上、毎月の提出期日までに提出して下さい。

※生活に関するご相談をご希望の場合は、【生活の状態について（任意）】【生活上のお困りごとについて（任意）】で相談したいことをご記入下さい。内容を確認次第、相談支援員からご連絡致します。

上記報告に虚偽がないことを申告します。

提出日： ●●年 ●月 ●日 生年月日： ●●年 ●月 ●日
氏 名： ●● ●● (フリガナ： ●●●● ●●)
住 所： 川口市中青木●-●-●-●●●● 電話番号： ●●●-●●●●-●●●●